

アメリカとユダヤ人

田村京子

私はアメリカについて、多人種・多民族国家であって自由が売りなのに、実際は人種差別や階級格差の問題が絶えないことについて興味がありました。そこでユダヤ人という人種に着目してみました。

ユダヤ人は、アメリカの発展において重要な役割を果たし、貢献してきました。しかし、それにもかかわらず、それを素直に一つ返事で肯定することができない人種の問題がアメリカには根付いていることを実感しました。

ユダヤ人はヨーロッパだけでなくアメリカでも人種差別を受け、迫害されてきました。

なぜ、ユダヤ人は嫌われるのでしょうか。

考えられる理由の中で、最も重要だと思ったのがユダヤ教の持つ、宗教性です。自分達は神に選ばれた「選民」であるという考え方、それに伴うキリスト教徒からの妬みなども考えられます。しかしこれらの原因はユダヤ人だけに言えることではないと思いました。

アメリカはとてまたくさんの民族・人種・宗教集団から成り立っていますが、生活習慣や宗教性の違う人々が一緒に生活していくというのはそう簡単なことではないだろうし、そのうえ白人優位だと考える人もいたりして深く根付いた人種差別はとてまた大きな壁だと感じました。

このゼミでは、みんな一人一人がそれぞれアメリカ文化について興味を持ったことを掘り下げていくので、いろいろな角度からアメリカを研究できました。

(指導教員 中村 敦志)